

# 後志支部活動状況報告

## 1. 活動方針

令和元年度から研究団体の一つとして活動を始めることができた。本会のテーマとして、だれもが総じて質の高い体育授業を行うことができるようになることを大きな目標としてとらえている。授業づくりに係る様々な情報を発信し、広く普及させることで、体育に対する負担感を軽減し、どの学校・どの学級でも日常的に質の高い授業を続けていくことができる未来を目指していきたい。

令和3年度も、「仲間をふやす」「できることを少しずつ」をモットーに、活動を継続させてきた。後志の地域性や実情に合った形で、会員とその他の教員を結びつけ、日々の業務や授業実践を楽しみながら会の活動ができるようにするにはどうすればよいか、コロナ禍で会員同士が集まる機会が減っている中でどのような交流のあり方が望ましいか、探りながらの活動を行っている。

## 2. 研究および活動の視点

### だれでもできる、無理なく続けられる 体育科の授業づくり

#### [視点①] どの子にも「できた!」がある授業

##### ■UDの視点から見た授業改善

- ・教師の明確な指示・発問
- ・上達をうながす練習方法や場の設定
- ・単元全体のデザインや目標・課題設定

##### ■対話から生まれる気づきと技能の向上

- ・課題解決に向けた身体感覚の共有
- ・チーム内での役割意識や互いを生かす動きの共有

##### ■ICT活用による視覚化

- ・問題場面・課題把握の明確化、焦点化
- ・自力解決や対話の切り口

#### [視点②] 小中9年間をつなげる指導と評価

##### ■目指す子どもの姿の明確化と具体化

- ・発達段階に応じた目標設定とゴールの姿を見据えた指導
- ・子どもの姿をもとに同じ視点での評価

## 3. 活動報告

### ■LINEグループでの情報交換

- ・道本部から配信された『感染予防に配慮した小(中)学校の体育学習』などの資料提供、おすすめの指導方法等の交流を行った。
- ・ラインつながりからの新会員発掘

### ■授業動画の撮影・配信、オンラインでの研究協議

- ・計画したが、実施までに至らず。

## 4. 今年度の課題と活動内容

### ■組織と活動の拡大

- ・若手教員を中心にネットワークを拡大中

### ■授業研究

- ・『指導上の困り感』が多い領域での提案授業を提供する
- ・気軽に無理なく、互いの授業を見合い、日常実践に生かす

### ■ミニ研修会

- ・会員同士の交流の場として、双方向通信アプリを利用して定期的に短時間での研修会を実施する

### ■情報の発信・活動の普及

- ・電子メール等による情報提供（広域性をカバーする手立てとして）
- ・授業動画の撮影、配信（コロナ対応と集合研修を補完する手立てとして）